MDHCだより　NO．５９

三河歯科衛生専門学校　　H２４．７．４

心ゆたかな歯科衛生士を目指して

服部矯正・小児歯科
服　部　基　一

臨床のなかで小児患者への対応はとても難しい、と実習生によくいわれます。あなたが現場で緊張している以上に、子どもたちは歯科的な問題を抱えて、恐怖と緊張を背負って来院しているのだから、そこを考えれば子どもの立場になって自然と声掛けしてあげられる、とよく話します。声掛けしても返事すらできず、口も開けることができなかった子どもが、歯科衛生士と向き合い話ができるようになり、話し合うことにより生活習慣がだんだんと良いほうに改善されていくことを実際に体験することはよくあることです。このように歯や口を通じて子ども自身の発達を支援することができることは、歯科衛生士としての醍醐味でもあります。

卒業生である歯科衛生士が慌ただしく診療しているなかで、同じ臨床実習をしてきた経験を生かして相談に答えてくれている所を見て、先輩後輩の絆も感じられ安心しています。

また、歯磨きができず歯がグラグラになった自閉症者の施設に指導に行き、低年齢から歯を磨ける習慣をつけてあげられたらよかったとも体感しています。

子どもたちは発達の途中だからこそ、専門領域である咀嚼や嚥下や呼吸などの口腔の働きをしっかり発達支援することが大切だ、と実習生に話しています。いろいろ体験してもらい、「心ゆたかな歯科衛生士」に向けて少しでもお役に立てたらと思っています。皆様よろしくお願いします。

１　臨床実習から

１）臨床実習３期まとめ

臨床実習３期が６月１２日で終了し、翌日に３期まとめを行いました。今回は“臨床で活躍する先輩から学ぶ”と“臨床実習についてクラスメイトとの意見・情報交換から学ぶ”をテーマに行いました。まずは刈谷豊田総合病院の歯科口腔外科に勤務している本校卒業生の鷲見昌子さんから、総合病院の中での歯科医療を始め、臨床現場で求められるＤＨ、実習生としての心構えまで、色々なお話をしていただきました。学生からは「緩みかけていた気持ちが引き締まり意欲が湧いた」「自分も将来先輩のようになりたい」等とてもよい示唆を受けたようです。

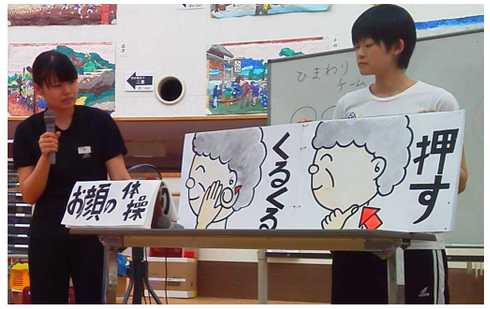
意見・情報交換では、７つの小グループに分かれ、各班別のテーマ「私のインシデント事例」などについてディスカッションし、最後に意見をまとめ発表を行いました。「患者さんから学んだこと」では、人との接し方、思いやりという意見やモチベーションの上げ方等が挙がり、情報を共有し、各々の価値観や立場を思いやりながら結論を導き出していました。

２）まどかの郷実習(特別養護老人ホーム)

３年制課程に移行し、高齢者歯科や口腔ケアの講義を新たに設け、高齢者に対する歯科保健管理を実際に学ぶ目的でまどかの郷で口腔ケア実習を行っています。

実習は３日間行い、１、２日目は入所者の方の口腔清掃支援を本校教員指導の下に行い、２日目には個別指導の実施で口腔アセスメントをとり、ＳＯＡＰの記録演習を行います。

３日目はデイサービスの利用者を対象に口腔機能向上トレーニングを含んだレクリエーションを１時間担当します。その内容は各班で考案しますが、「パタカラ」のことば遊びや、ペットボトルで作ったピンでボーリング大会を行ったり、唾液腺マッサージや嚥下機能を高める口腔機能向上トレーニングなどを行う内容が多いです。



～まどかの郷　レクリエーション実習風景より～

学生感想文　～抜粋～

『要介護者の方の口腔清掃支援は体の固定から、開口し続けることなど、想像以上に難しく自分の実力・知識不足を思い知らされました。しかし、超高齢社会の日本にとって、今後ますます口腔機能管理の必要性が増してきます。一人でも多くの方の役に立てるように、今日の反省を生かして勉強していきたいです。』

『施設職員の方のコミュニケーションの取りかた、相手を思いやり、同じ目線で笑顔で優しく接している姿をみて、信頼関係の築き方を学びました。また、口腔機能向上レクリエーションは、とても緊張しましたが、利用者の方が「家でもマッサージを行ってみる」とか「楽しかった。ありがとう。」と手を握ってお礼を言ってくださり、胸が熱くなりました。』

２　主な行事予定

・終業式　7／20(金)
・夏休み　7／21(土)～8／30(木)
・始業式・模擬試験　8／31(金)
＜３年生＞
・４期臨床実習　9／3(月)～9／26(水)
・研修旅行　10／24(水)～10／26(金)
＜２年生＞
・１期臨床実習　10／9(火)～12／12(水)